

平成15年度 公共事業再評価調書 (フォレスト・コミュニティ総合整備事業)

(事業着手後10年経過、着手後5年間未着手、再評価後5年経過、社会情勢の急激な変化)

評価確定日	平成 年 月 日
所管部課名	農林水産部 森林整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																																																						
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み] ○予算の制約等から期間を要しているが、用地取得など事業を推進する上で支障はなく、平成18年度の完成を予定している。																																																						
[路線名] 尾去沢休間内線 [所在地] 鹿角市尾去沢水晶山～北秋田郡比内町大葛	[事業の目的] 鹿角市尾去沢から比内町大葛までの、民有林・国有林を有機的に峰越連絡し、適切な森林整備と林業生産性の向上、原木市場への距離短縮、さらには農山村地域の振興を図るための骨格的林道を開設する。 [総合計画上の位置付け] 「あきた21総合計画 第2期」 ○施策名 豊富な森林資源の循環利用による林業の推進 ○施策目標 効率的な森林整備の推進 ○施策内容 林道・基幹作業道等路網の整備 密度：6.6m/ha(後期：H15～H17) [事業の内容] ○森林基幹道開設	[事業の経緯] S62 事業採択 S62～H9 再評価時 8,881m 1,276百万円 H10 958m 136 // H11 365m 136 // H12 815m 165 // H13 661m 124 // H14 435m 178 // H15 1,000m 120 // 計 13,115m 2,135百万円 [進捗状況] ○投資済事業費 H10再評価時 1,276百万円 (54.9%) H15未見込み 2,135百万円 (91.9%) ○完成延長 H10再評価時 8,881m (60.3%) H15未見込み 13,115m (89.0%) [次年度以降計画] 残事業量 1,623m 188百万円 [長期継続の理由] 全体事業費と地元負担の対応等を考慮し事業期間を見込んでいたが、予算の制約等から期間を要している。	[社会経済情勢の変化] ○地球温暖化防止森林吸収源対策として、これまで以上の森林の適切な整備が望まれている。 ○平成15年3月に「水と緑の条例」及び「秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例」が制定され、多様な森林づくりの基盤として不可欠な林道の計画的な推進が重要となっている。 ○森林資源の変化 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>面積ha</td> <td>蓄積 m³</td> </tr> <tr> <td>前回再評価時</td> <td>1,427</td> <td>136,956</td> </tr> <tr> <td>今回再評価時</td> <td>1,427</td> <td>159,650</td> </tr> <tr> <td>差</td> <td>0</td> <td>22,694</td> </tr> </table> 蓄積：森林資源の成熟による増 [地元の意向] 鹿角市と比内町を結ぶ広域基幹林道として開設し、適切な森林整備の推進・災害時の迂回路等として重要な役割を担っており、早期全線開通を要望されている。 [環境対策] ○土砂の流下防止を図るため、間伐材等を利用した木柵を設置するなど、環境に配慮している。 ○猛禽類については、現在確認されていないが、飛来確認・情報入手に留意し、確認された場合には「猛禽類保護の進め方(H8環境庁)」に沿い、適切な方策を図る。		面積ha	蓄積 m³	前回再評価時	1,427	136,956	今回再評価時	1,427	159,650	差	0	22,694	[整備効果] ○当該路線の開設に伴い、利用区域内の間伐等が実施され、森林の整備・保全に寄与している。 利用区域内実施実績 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>主伐</th> <th>間伐</th> <th>植栽</th> <th>下刈等</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>H10</td> <td></td> <td></td> <td>19</td> <td>85</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>H11</td> <td></td> <td>30</td> <td>9</td> <td>75</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>H12</td> <td></td> <td>12</td> <td>2</td> <td>56</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>H14</td> <td></td> <td>10</td> <td>1</td> <td>43</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>52</td> <td>31</td> <td>295</td> <td>378</td> </tr> </table> [費用の変化] ○事業費に変更はない [効果の変化] ○事業の効果に変化はない [費用対効果] 採択時：効果算定を実施していない 前回再評価時： // 今回B/C： 2.23 採択条件B/C=1.0以上	年度	主伐	間伐	植栽	下刈等	計	H10			19	85	104	H11		30	9	75	114	H12		12	2	56	70	H13				36	36	H14		10	1	43	54	計		52	31	295	378	3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点 [コスト縮減の可能性] ○掘削残土の現場内処理とL型擁壁などの経済的工法を採用し、コスト縮減を図る。 [代替案立案の可能性] ○なし
	面積ha	蓄積 m³																																																									
前回再評価時	1,427	136,956																																																									
今回再評価時	1,427	159,650																																																									
差	0	22,694																																																									
年度	主伐	間伐	植栽	下刈等	計																																																						
H10			19	85	104																																																						
H11		30	9	75	114																																																						
H12		12	2	56	70																																																						
H13				36	36																																																						
H14		10	1	43	54																																																						
計		52	31	295	378																																																						
再評価の結果		対応方針(案)及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																																																							
継続 ・ 中止		[対応方針(案)] 全体計画を見直し、平成18年度の完成を図る。 [理由] 適切な森林整備と効率的な林業経営の基盤となるとともに、農山村地域の振興を図る骨格的林道としても重要な役割を果たすことから継続して実施する。																																																									